

ID:0422

担当部署:経済観光部 観光政策課

処分の概要	配湯許可の変更		
例 規 名 根 拠 条 項	長門市営湯本温泉の配湯に関する規則 第3条		
例 規 番 号	平成17年規則第173号		
<p>【根拠条文】</p> <p>(配湯許可の変更)</p> <p>第 3 条 配湯許可業者は、許可を受けた事項（次項各号に掲げるものを除く。）を変更しようとするときは、速やかに湯本温泉配湯許可変更申請書（別記様式第 1 号）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、変更の基準については、前条第 4 項を準用する。</p> <p>2 配湯許可業者は、次に掲げる事項を変更したときは、速やかに湯本温泉配湯許可事項変更届（別記様式第 5 号）により市長に届け出なければならない。</p> <p>(1) 配湯を受ける施設の名称</p> <p>(2) 配湯を受ける施設の代表者名</p> <p>(3) 前 2 号に掲げるもののほか、市長が軽微な事項として認めるもの</p> <p>【基準】</p> <p>(配湯の許可)</p> <p>第 2 条</p> <p>4 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、第 2 項の許可をしないこととし、その理由を添えて湯本温泉配湯不許可通知書（別記様式第 4 号）を申請者に交付するものとする。</p> <p>(1) 湧出量、既存施設の配湯許可量、貯湯タンク容量等に照らして、申請配湯量が過大であるとき。</p> <p>(2) 配湯を受けようとする施設が配湯施設から離れている等、配湯が困難であるとき。</p> <p>(3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団の利益となると認められるとき。</p> <p>(4) 前 3 号に掲げるほか、湯本温泉全体の発展に照らしてやむを得ない事情があるとき。</p> <p>。</p>			
標準処理期間	30日		
備考			
設 定 年 月 日	平成 29 年 5 月 1 日	最終変更年月日	年 月 日